

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-88
補助事業名 平成26年度 健康・福祉機器産業における中堅・中小企業の販路拡大策に関する調査研究補助事業
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年、わが国の健康機器市場は拡大する傾向を見せ始めているが、国民の医療費負担の増加が深刻化する中、体力の維持、怪我の防止、病気の予防の面から健康機器は医療費負担の低減に繋がることが期待される。一方、高齢者及び障がい者の介護福祉従事者の作業負担を軽減することは、課題解決型産業として益々重要となっており、高齢者や障がい者のみならず介護福祉従事者を支援する機器の開発は喫緊の課題となっている。

そこで、本調査研究では、特に中堅・中小企業の成長分野として健康・福祉機器産業を取り上げ、国内外で市場拡大が期待される当該産業における中堅・中小企業の取り組み状況に関する各種実態調査に基づいて、事例分析による製品普及のための具体策の整理やアンケート調査結果の統計解析による販路拡大策の基本スキームの析出を行った上で、中堅・中小企業が販路拡大策を実現するために必要な要件を提示する。

(2) 実施内容

健康・福祉機器産業における中堅・中小企業の販路拡大策に関する調査研究

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=120205&rid=1179)

本調査研究では、初めに、健康・福祉機器産業の市場と対象分野の特徴について、各々、構成機器と市場規模、本調査研究における対象分野を提示し、既存資料及び統計データに基づいて、健康・福祉機器産業の最近の動向について簡単に整理している。次に、健康・福祉機器の販路拡大策に関する事例分析により福祉機器関連分野8事例、健康機器関連分野3事例を提示しファイディングスについて整理すると共にアンケート調査「健康・福祉機器市場における中堅・中小企業の販路拡大策」の統計解析結果に基づいて、特に「販路拡大策」の視点から報告している。

また、中小企業の販路拡大策については、重点項目の回答結果の因子分析を行い、以上の結果を含む統計解析結果から導出されたファイディングスについて整理している。さらに、健康・福祉機器産業の成長条件について6つの視点から考察した上で、本調査研究の纏めとして、健康・福祉機器関連分野における製品普及のための具体策、基本スキーム及び中堅・中小企業の販路拡大策に必要な視点を提示している。

2 予想される事業実施効果

成果報告セミナーでは、活発な質疑応答が行われ、当該分野への関心の高さが窺える結果となった。また、実態調査にご協力頂いた企業からも頒布した報告書のさらなる要望があるなど成果の普及を行っている。さらに、成果報告セミナーの要点については、平成27年5月13日付「日刊工業新聞」社説欄において紹介され、今後の波及効果が期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

報告書『健康・福祉機器市場における中堅・中小企業の販路拡大策』



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

成果報告セミナー・テキスト（福島県郡山市）



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 機械振興協会

(イッパンザイダンホウジン キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

代表者： 会長 庄山 悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 経済研究所 調査研究部 (ケイザイケンキュウシヨ チョウサケンキュブ)

担当者名 : 調査研究部長 北嶋 守 (チョウサケンキュウブ キタジママモル)

電話番号 : 03-3434-8251

F A X : 03-3434-3696

E-mail : kitajima@eri.jspmi.or.jp

U R L : http://www.jspmi.or.jp/system/top_all.php